



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ゲオ

コード番号 2681 URL <http://www.geonet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森原 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 久保田 貴之

TEL 0568-33-4388

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	57,153	7.2	3,987	108.8	4,030	86.1	1,839	—
23年3月期第1四半期	53,336	△0.6	1,909	△37.0	2,166	△28.4	△1,018	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,890百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,053百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	3,382.20	3,375.12
23年3月期第1四半期	△1,903.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	123,075	49,186	37.5
23年3月期	125,442	48,037	35.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 46,154百万円 23年3月期 45,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1,400.00	—	1,400.00	2,800.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	1,500.00	—	1,500.00	3,000.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	123,500	8.2	5,500	37.5	5,400	22.6	2,500	70.9	4,597.04
通期	270,000	6.7	15,500	10.0	15,300	5.9	8,000	6.5	14,710.53

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	585,192 株	23年3月期	585,192 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	41,364 株	23年3月期	41,364 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	543,828 株	23年3月期1Q	534,936 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による電力不足の懸念、欧州の財政不安等により、為替環境、雇用状況、個人所得状況などさまざまな経済環境において、先行きの見えない状況のまま推移いたしました。そのため、小売・サービス業界においても物流等商品調達の不透明感がある中での厳しい環境となりました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、積極的な出店を引き続き実施し、グループ店舗施設数は22店舗増加し1,377店となりました。同時に、管理体制の強化に向けた各管理体制の見直し、ガバナンスの強化に取り組み、“店舗網の拡大”および“管理体制の強化”に努め、更なる収益力の増強と経営基盤の強化に取り組んでおります。

<売上高>

小売サービス事業において積極的な出店を重ねてきたことにより、売上高は前第1四半期連結累計期間に比べ3,817百万円増加し、57,153百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

<営業利益及び経常利益>

小売サービス事業における売上の増加に加え、利益率の高いレンタル部門の売上構成が上昇したこと、また各種コストの見直しを行ったことで、営業利益は前第1四半期連結累計期間に比べ2,077百万円増加し、3,987百万円（前年同期比108.8%増）、経常利益は前第1四半期連結累計期間に比べ1,864百万円増加し、4,030百万円（前年同期比86.1%増）となりました。

<四半期純利益>

営業利益の増加が主要因となったことに加え、前期に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失が発生したこともあり、当四半期純利益は前第1四半期連結累計期間に比べ2,857百万円増加し、1,839百万円（前年同期は四半期純損失△1,018百万円）となりました。

以下は、当第1四半期連結累計期間末における当社グループの店舗・施設数の状況であります。

() 内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店	代理店	F C店	合計
ゲオグループ店舗施設数	1,143 (+24)	105 (△2)	137	1,377 (+22)
小売サービス店舗	1,089 (+24)	105 (△2)	137	1,323 (+22)
メディア商材取扱店舗	917 (+20)	105 (△2)	97	1,119 (+18)
リユース商材取扱店舗	459 (+6)		45 (+3)	504 (+9)
総合リサイクル店舗	116 (△1)		36	152 (△1)
携帯電話販売店等	37 (+1)			37 (+1)
アミューズメント施設	54			54
ゲオディノス	21			21
ウェアハウス	11			11
フィットネス施設	14			14
複合カフェ・飲食店	8			8

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は53,132百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,264百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が840百万円、受取手形及び売掛金が1,101百万円減少したことによるものであります。固定資産は69,942百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円減少いたしました。これは主に敷金及び保証金が141百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、123,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,367百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は35,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ508百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が900百万円及び未払法人税等が931百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が1,254百万円減少したことによるものであります。固定負債は37,938百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,007百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が2,585百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、73,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,516百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は49,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,148百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益1,839百万円及び剰余金の配当761百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は37.5%（前連結会計年度末は35.9%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は、厳しい経済環境の中、グループ全体の収益改善活動により計画を上回り推移しておりますが、通期の業績予想につきましては、最盛時期となる年末での販売状況においてのリスクを考慮し、平成23年5月20日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,299	22,458
受取手形及び売掛金	6,845	5,743
商品	14,207	14,787
その他	11,458	10,544
貸倒引当金	△413	△401
流動資産合計	55,397	53,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,346	16,367
その他(純額)	25,349	25,590
有形固定資産合計	41,696	41,957
無形固定資産		
のれん	4,383	4,308
その他	1,319	1,315
無形固定資産合計	5,702	5,623
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,928	14,786
その他	9,348	9,438
貸倒引当金	△1,629	△1,863
投資その他の資産合計	22,646	22,361
固定資産合計	70,045	69,942
資産合計	125,442	123,075
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,953	9,699
短期借入金	500	1,400
未払法人税等	808	1,739
引当金	1,128	608
その他	23,068	22,502
流動負債合計	36,458	35,950
固定負債		
社債	2,993	2,941
長期借入金	27,103	24,517
引当金	517	504
資産除去債務	2,919	2,957
その他	7,413	7,017
固定負債合計	40,945	37,938
負債合計	77,404	73,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,603	8,603
資本剰余金	9,457	9,457
利益剰余金	30,281	31,359
自己株式	△3,378	△3,378
株主資本合計	44,964	46,042
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	112
その他の包括利益累計額合計	95	112
新株予約権	214	234
少数株主持分	2,763	2,797
純資産合計	48,037	49,186
負債純資産合計	125,442	123,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	53,336	57,153
売上原価	31,095	30,909
売上総利益	22,240	26,244
販売費及び一般管理費	20,330	22,257
営業利益	1,909	3,987
営業外収益		
受取保険金	147	145
受取手数料	185	—
不動産賃貸料	—	208
その他	205	152
営業外収益合計	538	506
営業外費用		
支払利息	181	173
不動産賃貸費用	—	116
その他	99	172
営業外費用合計	281	462
経常利益	2,166	4,030
特別利益		
投資有価証券売却益	99	—
貸倒引当金戻入額	37	—
その他	10	—
特別利益合計	148	—
特別損失		
減損損失	275	314
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,312	—
その他	17	—
特別損失合計	1,605	314
税金等調整前四半期純利益	709	3,716
法人税、住民税及び事業税	1,040	1,688
法人税等調整額	740	155
法人税等合計	1,781	1,844
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,071	1,871
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△53	32
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,018	1,839

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,071	1,871
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	17	18
その他の包括利益合計	17	18
四半期包括利益	△1,053	1,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,000	1,856
少数株主に係る四半期包括利益	△53	33

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小売サー ビス	不動産	アミュー ズメント	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,906	991	1,927	52,825	510	53,336	—	53,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	—	0	7	13	21	△21	—
計	49,913	991	1,927	52,832	524	53,357	△21	53,336
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	2,316	68	△9	2,376	△28	2,347	△437	1,909

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△437百万円には、セグメント間取引消去△21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△416百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「小売サービス事業」セグメントにおいて、平成22年5月に株式会社エイシスを子会社化したことに伴い、1,408百万円のものれんを計上しております。

(重要な負のものれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小売サー ビス	アミュー ズメント	計				
売上高							
外部顧客への売上高	53,640	3,070	56,711	442	57,153	—	57,153
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5	0	5	11	17	△17	—
計	53,646	3,070	56,717	453	57,170	△17	57,153
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	4,317	208	4,525	△20	4,505	△518	3,987

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業及びその他のサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△518百万円には、セグメント間取引消去△17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△501百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 事業区分につきましては、従来「小売サービス」、「不動産」、「アミューズメント」の3つに区分しては、不動産事業を行っていた連結子会社の株式会社ゲオエステートを前期末に第三者に譲渡した為、当第1四半期連結累計期間より、「小売サービス」、「アミューズメント」の2つの区分にしております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。